

デジタルものづくりセンターの開設

【キーワード】 デジタルものづくり、CAE (Computer Aided Engineering)、シミュレーショントライアルルーム、コワーキング・展示スペース、セミナールーム

【はじめに】

令和3年度に静岡経済研究所が実施した調査によると、県内中小企業はものづくりのデジタル化には関心が高いもののCAE (Computer Aided Engineering) 導入企業は16.9%で、普及が進んでいません。近年、大企業では製品開発の生産性向上のためにデジタル化の動きが加速し、それに伴い中小企業にもデジタルものづくりへの対応が求められています。

そこで、浜松工業技術支援センターでは、県内中小企業のものづくりをデジタルデータに基づいて企画・設計から成形・加工、計測・評価までを一貫して支援 (図) するデジタルものづくりセンターを9月1日に開設します。

【デジタルものづくりセンターの概要】

表に示したデジタルものづくりセンターの概要のとおり、「シミュレーショントライアルルーム」、「コワーキング・展示スペース」、「セミナールーム」の整備が完了しました。また、今年度新たに導入した熱・構造 CAE 装置、形状最適化ソフトウェア、ワークショップ用モバイルワークステーションの設置が完了し、既存の金属及び樹脂の3Dプリンタ、X線CT装置、3Dスキャナとあわせて、設計から成形・加工、計測・評価までの支援体制が整いました。

今後もデジタルものづくりに関するセミナー、ワークショップを随時開催していきますので、是非、デジタルものづくりセンターを御活用ください。



図 デジタルものづくりセンター支援体制

表 デジタルものづくりセンターの概要

施設及び機器	○シミュレーショントライアルルーム ANSYS、SOLIDWORKS等の各種CAEソフトウェアの試し使い (有料)
	○コワーキング・展示スペース 打合せ、3Dプリンタ等のサンプル、成果事例紹介
	○セミナールーム セミナー、モバイルワークステーションを用いたワークショップ等の開催